

Canon EF LENS

EF85mm f/1.2L II USM



 **ULTRASONIC**

JPN

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンEF85mm F1.2L II USMは、大口径の高精度非球面レンズを採用してF1.2の明るさを実現した、EOSカメラ用・高性能中望遠レンズです。大口径レンズならではの柔らかいボケ味を活かした、ポートレート撮影などに最適のレンズです。

● USMはUltrasonic Motor（超音波モーター）の略称です。

特長

1. 大口径の高精度非球面レンズを採用することにより、絞り開放より極めて優れた描写性能を実現しています。
2. 超音波モーター（USM）搭載により、高速で静かなオートフォーカスを実現しています。
3. フォーカスリングの回転を電気的に検知して手動フォーカスを行う、電子マニュアルフォーカスを採用しています。
4. オートフォーカスモード（ONE SHOT AF時）のまま、合焦後にマニュアルでピント調整ができます。
5. 円形絞りの採用により、なめらかで美しいボケ味が得られます。

安全上のご注意

- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因となります。
- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

- レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。

本文中のマークについて

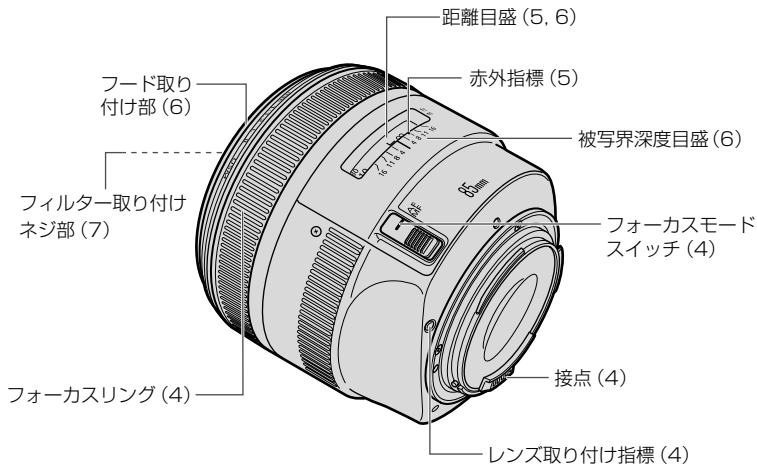


撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

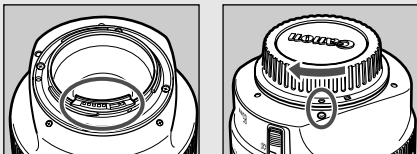
各部名称



(**) の ** 部は参照ページを示しています。

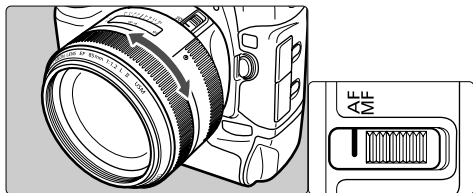
1. レンズの着脱

レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。



- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの○の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。

2. フォーカスモードの設定



オートフォーカス (AF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。

マニュアルフォーカス (MF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを回します。

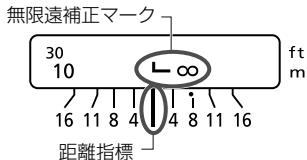


AF作動中は、レンズ前側の作動部分に触れないでください。



- カメラのAFモードがONE SHOT AFのときは、AFでピントを合わせたあと、シャッター半押し状態でフォーカスリングを回すと、任意にピントを調整できます。(フルタイムマニュアルフォーカス)
- ただし、次の場合はフルタイムマニュアルフォーカスは使用できません。
 - ・ EOS 620、650、1000、1000Sを使用するとき
 - ・ カメラのモードダイヤルの簡単撮影ゾーンで撮影するとき

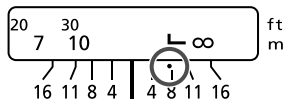
3. 無限遠補正マーク



温度変化によるピント移動を補正するため、無限遠(∞)位置に余裕を持たせてあります。常温の無限遠位置は、Lマークの縦線と距離指標が合うところです。

- 無限遠の被写体に、MFで正確にピントを合わせる場合は、ファインダーで確認しながらフォーカスリングを回してください。

4. 赤外指標



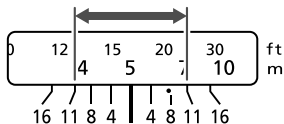
赤外指標は、白黒赤外フィルム使用時のピントを補正するためのマークです。MFでのピント調整後に、距離目盛を赤外指標の位置までずらして撮影します。

- 赤外フィルムが使用できないEOSカメラがあります。お手持ちのEOSカメラの使用説明書で確認してください。



- 赤外指標は800nmの波長が基準になっています。
- 赤外フィルムに記載されている注意事項も必ずお読みください。
- 赤フィルターを使用してください。

5. 被写界深度目盛

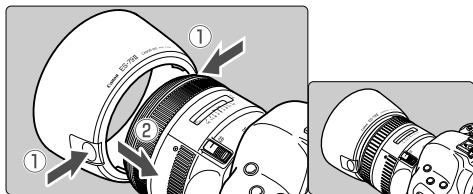


ピントを合わせた被写体の前後で鮮明に写る一定の範囲を被写界深度といいます。被写界深度の範囲は距離目盛下部の被写界深度目盛ではさまれた範囲となります。目盛上の数値はF値を示しており、例えば撮影距離が5mで絞りF11の場合は、約4mから7mまでが鮮明に写る範囲となります。



被写界深度目盛はあくまでも目安です。

6. フード



レンズフードES-79 IIは、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。フードの取り付けは次の手順で行ってください。

- フード後部のボタンを押しながら、レンズのフード取り付け部に押し当てます。
- ボタンを離し、フードのツメを取り付け部のミゾにはめ込みます。

収納時にはフードをレンズに逆向きにかぶせることができます。



フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。

7. フィルター（別売）

フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。



- フィルターは1枚のみ使用できます。
- 偏光フィルターはキヤノン円偏光フィルター（72mm）を使用してください。
- 円偏光フィルターの調整操作は、フードを外して行ってください。

8. エクステンションチューブ（別売）

エクステンションチューブEF12 II/EF25 II を使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率は次のようになります。

	撮影距離範囲 (mm)		撮影倍率 (倍)	
	近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	497	699	0.25	0.15
EF25 II	369	409	0.42	0.33



正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

9. クローズアップレンズ (別売)

クローズアップレンズ500D (72mm) を使用して拡大撮影ができます。

撮影倍率は0.28~0.17倍になります。



- クローズアップレンズ250Dは使用可能なサイズがありません。
- 正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

主な仕様

焦点距離・明るさ	85mm・F1.2
レンズ構成	7群 8枚
最小絞り	F16
画角	対角 28°30'、垂直 16°、水平 24°
最短撮影距離	0.95m
最大撮影倍率	0.11倍
画界	226×339mm (0.95m時)
フィルター径	72mm
最大径×長さ	91.5×84mm
質量	1025g
フード	ES-79 II
レンズキャップ	E-72U/E-72 II
ケース	LP1219

- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+21.5mm（レンズキャップがE-72Uの場合）／+24.2mm（レンズキャップがE-72 II の場合）になります。
- 大きさ・質量は本体のみの値です。
- エクステンダーEF1.4X II/EF2X II は使用できません。
- 絞り値はカメラ側で設定します。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品のアフターサービス期間は、製品製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン EFレンズホームページ

canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター

050-555-90002 (直通)

受付時間〈平日〉9：00～20：00 〈土/日/祝〉10：00～17：00 〈1/1～3は休ませていただきます。〉

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-3455-9353をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon